

光ファイバーセンシングによる構造物モニタリング

i-Lineシリーズは、光ファイバーを使用した次世代センシングシステムです。光伝送のため、長距離・広範囲の遠隔監視に優れ、またセンサー部・伝送部に電気を使用していないため、引火の恐れがない、電磁波の影響を受けない、水周り・屋外での使用が可能等の優位性があります。



製品仕様	
外形サイズ	100.5 ^h ×100 ^w ×36.5 ^h mm (光入出力端子の突起部等を除く)
重量	300g以下
光入出力端子	LC/SPC（標準） カスタマイズ可
光入出力	1ch（LED）
出力波長	1,310 μ m
データ出力間隔	標準1,000ms（最小5msまでカスタマイズ可）
使用温度範囲	-10～60 $^{\circ}$ C
出力形式	電圧出力（0-5V）、電流出力（4-20mA）、およびUSB出力 (Bluetooth、3G等のモバイル回線へのカスタマイズ可)
供給電源	DC 6V（ACアダプター付属）
消費電力	1.2W
備考	i-Lineシリーズの全センサーに対して使用可能 (出荷時に各種センサーヘッド部用ファームウェアを組み込み)

『i-Lineシリーズ』の特長

1 安全な計測

センサー部に電気を使用していないので、電磁ノイズや落雷の影響を強く受ける環境、多湿等の劣悪な環境、防爆性を必要とする環境でもご利用いただけます。

3 低価格・設置が容易

光ファイバーケーブルを通る光の強度変化から微細な状態変化を検知するシンプルなセンサー原理のため、計測器（i-Line BOX）のコストを抑え、必要な機材も少なくなり設置が容易になります。

2 温度変化の影響を受けない

弊社独自のヘテロコア型光ファイバーは、外界の温度変化に影響を受けないため温度補償用の設備等を用意することなく安定した計測が可能になります。

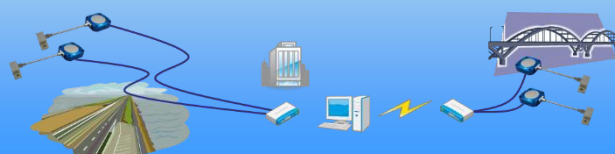
4 実時間・長距離計測が可能

光の波長解析等を必要としないため、リアルタイム（標準で100Hz）に測定することができます。また、通信用のシングルモード光ファイバーを用いているため長距離（～30km）での利用もできます。

平成27年度 八王子市中小企業新商品開発認定制度 認定商品
認定商品名：新型光ファイバセンサ変位計（i-Lineシリーズ）

『i-Lineシリーズ計測器』の用途

- ◆i-Lineセーフティソリューション（構造物モニタリング事業）の制御用コントローラー
- ◆i-Lineセキュリティソリューション（セキュリティ事業）の制御用コントローラー



株式会社コアシステムジャパン

〒192-8577
東京都八王子市丹木町1-236
創価大学産学連携推進センターRD103
TEL 042-696-3411 FAX 042-696-3412

インターネットの情報もご覧ください

<http://www.core-system.jp/>